

日本語教育機関等設置代表者 殿

一般財団法人日本語教育振興協会
理事長 佐藤次郎
(公印省略)

令和元年度生活指導担当者（初任）研修の実施について（ご案内）

当協会の運営につきましては、日頃からご支援をいただき厚くお礼申し上げます。

当協会では、日本語教育機関における生活指導担当者の能力向上を図るため、平成14年度から標記の研修を実施しております。今年度は、9月に中堅の生活指導担当者の方を対象にした研修を実施しており、今回は初任の生活指導担当者の方を対象にして、下記の通り研修を実施することにいたしました。

つきましては、貴日本語教育機関等の生活指導担当者（事務職兼務者、教務兼務者を含む。）で参加希望者がいる場合は、別紙様式「参加推薦書」により、令和2年1月24日（金）までにEメールで事業部宛てご推薦くださいますようお願いいたします。

記

- 1 日時 令和2年2月17日（月）13:00～17:10
（懇親ネットワーク会：17:45～19:30）
2月18日（火） 9:30～15:00

- 2 会場 国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟 309号室
〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町3-1
TEL 03-3467-7201

3 定員及び参加要件等

- (1) 定員は50名程度とします。推薦は、1校につき2名までとします。
(2) 参加者は次の要件を満たす必要があります。日本語教育機関又は大学等教育機関の現場において、実際に留学生の生活指導に携わり、原則3年以内の者。

4 参加費

	①宿泊（シングル利用）	②宿泊を利用しない
維持会員及び準会員機関 （年会費納入校）	20,000円	16,500円
その他の教育機関	40,000円	36,500円

※①と②の参加費には、1日目懇親ネットワーク会費・2日目昼食・資料代を含みます。

※止むを得ない事情で懇親ネットワーク会に参加できない場合は、予め事業部宛てお問い合わせください。

5 宿泊

宿泊先としては「国立オリンピック記念青少年総合センターD棟」の部屋を日振協名であらかじめ確保しておりますので、ご希望の方は、別紙様式「参加推薦書」の「参加について」欄にご記入ください（遠距離及び先着を優先）。

キャンセルの場合は、2月13日（木）までに協会事業部までご連絡ください。
また、返金が生じた場合の手数料は、各自ご負担願います。

6 日程

別紙のとおり

7 生活指導担当者研修専門委員

委員長 谷 一郎（与野学院日本語学校校長）

委員（氏名五十音順）

志村 信生（（学）石川学園横浜デザイン学院国際センター長）

正能 志保（新宿平和日本語学校事務長）

鈴木 えみ（大阪YMCA学院校長）

中西 郁太郎（青山スクールオブジャパニーズ校長）

西村 輝夫（習志野外語学院学生部職員）

丸山 茂樹（（一財）日本語教育振興協会理事）

8 受講証明書

全日程参加者にのみ、受講証明書を発行します。

9 参加者の決定等

参加者については、後日お知らせします。

なお、参加費については、別途お知らせする所定の口座に振り込んでいただくよう併せて連絡します。

【お問い合わせ先】

事業部： 小野寺陽子・相原

TEL： 03-5304-7815 FAX： 03-5304-7813

Eメール：y-onodera@nisshinkyo.org URL：www.nisshinkyo.org

令和元年度生活指導担当者(初任)研修日程

開催日：令和2年2月17日(月)～18日(火)

会場：国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟309号室

司会・進行：生活指導担当者研修専門委員

【1日目：2月17日(月)】

時間	研修内容	研修室
12:30～12:50	受付	センター棟 309
13:00～13:10(10)	開会挨拶 日本語教育振興協会理事長 佐藤 次郎 趣旨説明 実行委員長 谷一郎	
13:10～14:10(60)	①講義「生活指導とは」 講師：日本語教育振興協会理事 丸山 茂樹	
14:10～15:40(90)	②講義「生活指導と関連法規」 講師：日本語教育振興協会専務理事 高山 泰（元東京 入国管理局長、元 JITCO 理事）	
15:40～15:50(10)	休憩	
15:50～16:50(60)	③講義「代理申請」 講師：習志野外語学院学生部職員 西村 輝夫	センター棟 309
16:50～17:10(20)	④確認テスト	
会場移動		
17:45～19:30(105)	⑤懇親ネットワーク会	カルチャー棟 レストランとき

【2日目：2月18日(火)】

9:30～10:45(75)	⑥講義「オリエンテーション論」 講師：大阪YMCA学院校長 鈴木 えみ	センター棟 309
10:45～11:45(60)	⑦講義「生活支援論」 講師：横浜デザイン学院国際センター長 志村 信生	
11:45～12:45(60)	昼食	センター棟 レストランふじ
12:45～14:45(120)	⑧グループワーク「ケーススタディ」 コーディネーター：青山スクールオブジャパニーズ校長 中西 郁太郎	センター棟 309
14:45～15:00(15)	閉会	

○日程は変更になる場合があります。

○別紙「令和元年度生活指導担当者研修のねらい」参照

令和元年度生活指導担当者(初任)研修のねらい

全体のねらい

最近の日本社会のキーワードの1つは、人材不足です。外国人材が脚光を浴びて、我々の業界も注目されるなか、日本語教師不足が大きな問題となっています。しかし、その一方でプロの生活指導担当者の不足も深刻な問題となってきています。社会のニーズに加え、日々の業務量が増大するなか、生活指導担当者の育成は、重要な課題となっているにもかかわらず、十分な育成が行えていないのが現実ではないでしょうか。

日振協は、これらの時代の要請に応え、生活指導担当者研修を、一定の経験を積まれた方に限定した研修と、経験年数3年以下の方を想定した研修の2本立てで行っていく予定です。そこで、令和2年2月に実施する研修においては、経験年数3年以下の方を想定した研修として、従来とは大きく構成を変更しました。まずは幅広い業務領域を概観していただき、さらに経験の浅い生活指導担当者の方にとって業務上必要な基礎知識の中から重要度の高い領域をピックアップして学び、それらに関連したケーススタディを行います。今後は、この研修に継続してご参加いただくことで、全ての業務領域の基礎知識がカバーできるように進めていく予定です。

本研修は、経験の浅い生活指導担当者が、先輩の指導下から脱皮して、独力での生活指導担当者としての業務遂行ができるようになることを目指しておりますが、普段は、生活指導にあまり携わっていない日本語教師の方が生活指導にも知識を広げていくのにも適当かと思えます。

講義「生活指導とは」

生活指導担当者は、学生募集から進路指導まで幅広い業務領域があります。まずはその法的位置づけ、業務領域・それぞれの業務内容を理解し、生活指導担当者としての心構え、生活指導において留意しておかなければならないことについてお話しします。

講義「生活指導と関連法規」

留学生の生活指導を行うにあたっては、まず我々自身が我が国の関連法規に精通していなければなりません。入管法や告示基準、刑法、労基法等を我々の業務に絡めて解説します。

講義「代理申請」

生活指導担当者は、学生募集の次の段階として、在留資格認定証明書の交付申請、そして、在留資格の更新申請に精通していなければ、効果的な生活指導を行うことはできません。この講義においては、申請業務のポイントについて学びます。

「確認テスト」

今回の研修は、講義が主体とはなっていますが、受講者の方々が講義を受講するだけでは、本来の研修の意味がありません。このセクションでは、受講者の皆さんにここまでの講義に関する確認テストをしていただき、その答えについて話し合ってください。

講義「オリエンテーション論」

生活指導は、効果的なオリエンテーションが非常に重要です。オリエンテーションが、学校の責任回避のためのアリバイ作りになっているようではいけません。この講義においては、効果的なオリエンテーションに必要なポイントを学びます。

講義「生活支援論」

生活指導は、管理の側面と支援の側面があります。在学中の様々な場面を時系列に、また、幅広い領域別に学生に対する管理、支援のポイント、在り方を学びます。

グループワーク「ケーススタディ」

生活指導は、大きく、来日時・初期、在学中、修了・退学時と3つのステージに分けることができます。それぞれのステージにおいて生活指導担当者が直面する基礎的、典型的な事例について、ケーススタディを行います。

令和元年度生活指導担当者(初任)研修参加推薦書

令和 年 月 日

一般財団法人日本語教育振興協会理事長 宛て

会員番号 ※日振協認定校からご参加 の方のみご記入ください		代表者名	
機関名			

標記の研修に下記の者を参加させたいので、推薦します。

記

1.参加希望者

推薦順位	1		2	
ふりがな				
氏名				
年齢 (R2.1.1現在)	歳	<input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女	歳	<input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女
主たる業務	<input type="checkbox"/> 生活指導 <input type="checkbox"/> 事務 <input type="checkbox"/> 教務		<input type="checkbox"/> 生活指導 <input type="checkbox"/> 事務 <input type="checkbox"/> 教務	
生活指導担当者としての 経験年数	年	月	年	月
事務職員としての 経験年数	年	月	年	月
教務職員としての 経験年数	年	月	年	月
※生活指導担当者とし ての通算経験年数 (R2.1.1現在)	年	月	年	月
宿泊について	<input type="checkbox"/> 希望する	<input type="checkbox"/> 希望しない	<input type="checkbox"/> 希望する	<input type="checkbox"/> 希望しない

※(1)複数の職場に生活指導担当者として、勤務実態のある場合の通算年数とする。

※(2)経験年数に関しては、未経験の場合、「0」を記入すること。

連絡担当者	TEL	
	氏名	

令和2年1月24日までに事業部(Eメール y-onodera@nisshinkyō.org)宛て送付願います。